



## はじめに

新潟市は、広域合併から11年目、本州日本海側初の政令指定都市移行から9年目を迎えます。これまで、「新・新潟市総合計画」に基づき、「地域」「大地」「世界」の3つをキーワードに、かつてない新しい大都市を目指して、政令指定都市の土台づくりを進めてきました。そして今、その土台は良い形で出来上がったと感じています。

今後は、急激に進む人口減少、少子・超高齢化に向けて、持続可能なまちづくりを進めることが最重要課題です。このような時代の潮流の中、今後8年間で本市が目指す姿の実現に向けた取組みを、市民の皆さまと共有し、協働でまちづくりを進めるため、将来像を分かりやすくお伝えすることに重点を置き、「にいがた未来ビジョン」(新潟市総合計画)を策定しました。

本市の未来を市民の皆さまと共有するため、策定の初期段階から、幅広い世代や分野を対象としたワークショップを開催したほか、区自治協議会や地域コミュニティ協議会など各種団体との意見交換やシンポジウム、大学生や県外在住の方へのアンケートを実施するなど、多様なご意見をいただく市民参加の機会を設けながら検討を進めてきました。

また、総合計画審議会で、さまざまな立場の方からご審議・ご検討いただくとともに、市議会においては、総合計画特別委員会が設置され、ご議論をいただきました。ビジョン策定にご尽力、ご協力いただきました皆さまに心からお礼を申し上げます。

本市のまちづくりは、さらなる成長へ向けた新たなステージへと移行します。「安心政令市にいがた」の実現を目指し、本市が誇る「地域力・市民力」、「大地・田園の力」、「日本海拠点の活力」を活かしながら、新潟の可能性を最大限に切り開いていきます。また、新潟暮らしの良さに磨きをかけ、弱点は克服していく取組みを進め、21世紀にふさわしい豊かな暮らしを新潟から構築していきます。

平成27年4月

新潟市長 篠田 昭



# 新潟市民憲章

## わたしたちをめざす新潟

信濃、阿賀野のゆたかな川の流が海にそそぎいるところ、  
ここがわたしたちのまち新潟。日本海に沈む夕日が美しい。

海のかなたの国ぐににむけて開かれたこの港まちは、  
流れのほとりの木のように、いよいよ育ち、栄えている。

人びとは、昔から、力を合わせ、ねばり強く、  
この自由な開かれたまちを築いてきた。

さあ、わたしたちも、いま、たしかな一歩を踏み出そう。  
わたしたちが望む新潟をめざして！

ゆたかな海の幸と田畑のみどり。  
新潟は、自然がいかされ、まもられるまち。

働くよろこび、憩いの静けさ。  
新潟は、活気にあふれ、落ちつきのあるまち。

すこやかな生活は、わたしたちすべての願い。  
新潟は、みんなで生きるために、助け合うまち。

はぐくむ心が、いのちを育てる。  
新潟は、一人ひとりが大切にされ、いかされるまち。

海のむこうは、友となる国ぐに。  
わたしたちは、世界の平和のかけ橋となる。

(平成元年4月1日制定)







市の木 ヤナギ



市の花 チューリップ



市の鳥 ハクチョウ

